

# 徳

五年

画数 14  
筆順

ナ 行 衤 徳 徳  
トク

成り立ち

徳 → 徳 → 徳 → 徳

「直(2年195)」という字の形が変わった「直」と、「心」と、「行い」の意味の「イ」とを組み合わせて作った字です。

「正直な心から出た行い」という意味の字です。

人として守らなければならぬ「正しい行い」を表した字です。【例】道徳、徳行、徳育、美德。

また、「徳行が結局は利益の元である」ということで「利益(得)」の意味にも使われます。【例】徳用。

使い方

▽道徳は、人として守らなければならないものです。どんなに金持ちでも、どんなに頭が良くても、道徳を守らない人には何のねうちもありません。

▽わたしは今色々な欠点がありますが、できるだけ徳行につとめて、功徳を積み、立派な人になりたいと思います。

熟語例

▽道徳(人として守らなければならない、正しい行い。良心にしたがって、悪いことをせず、良いことをすること。)

▽徳行(道徳にかなった立派な行い)

▽徳育(道徳的な教育。人を正しく立派にするような教育。「徳育につとめて、立派な人間を育てる」などというふうに、つかいます。)

▽美德(美しい、ほめるべき行い)

▽徳用(使つて得になること。「この品は、たいへんお徳用です」などというふうに、つかいます。)

▽功徳(仏教で「よい報いが受けられるような善い行い」のこと。)

# 独

五年

画数 9  
筆順

ノ ヲ 犮 犮 犮 犮 犮  
ドク

成り立ち

獨 → 獨 → 獨 → 獨

本字は獨。「蜀」という「虫」と、「犮」の意味の「犮」とを組み合わせて作った字です。

「蜀」という虫は、まゆの中に「ひとり」でいます。「犮」は、たくさんの羊の群を「ひとり」で守っています。それで、「蜀」という虫と、「犮」とを組み合わせて、「ひとり」という意味を表しました。【例】独立、独歩、独学。

「自分だけ」という意味にも使われます。【例】独善、独尊。

「ただ一つ」という意味にも使われます。【例】単独、独眼。

また、「ドイツ」の意味に使われます。【例】日独友好。

使い方

▽ぼくは早く独立。独歩の人生を歩みたいと思います。おとうさん、おかあさんは大好きですが、やはり自分の事は自分でして、自分の力で生きて行くのが望みます。

▽わたしのおとうさんは、独学でドイツ語を勉強して、話すことも読むこともできます。わたしは、おとうさんは、とてもえらいなあ、と思います。

熟語例

▽独立(ほかの人にたよらないで、自分ひとりで生活すること。また、ほかのものの支配を受けないこと。「アフリカには数多くの独立国がたんじょうした」などというふうに、つかいます。)

▽独歩(独りで歩くこと。また、ほかの人にたよらないで、自分の力で何かを行うこと。)

▽独学(学校に行かず、自分ひとりで勉強すること。)

▽独善(自分ひとりが尊いと思うこと。「あの人は唯我独尊で、感じが悪い」などというふうに、つかいます。)

▽独尊(自分ひとりが尊いと思うこと。「あの人は唯我独尊で、感じが悪い」などというふうに、つかいます。)

使い方

▽ぼくは早く独立。独歩の人生を歩みたいと思います。おとうさん、おかあさんは大好きですが、やはり自分の事は自分でして、自分の力で生きて行くのが望みます。

▽わたしのおとうさんは、独学でドイツ語を勉強して、話すことも読むこともできます。わたしは、おとうさんは、とてもえらいなあ、と思います。

熟語例

▽独立(ほかの人にたよらないで、自分ひとりで生活すること。また、ほかのものの支配を受けないこと。「アフリカには数多くの独立国がたんじょうした」などというふうに、つかいます。)

▽独歩(独りで歩くこと。また、ほかの人にたよらないで、自分の力で何かを行うこと。)

▽独学(学校に行かず、自分ひとりで勉強すること。)

▽独尊(自分ひとりが尊いと思うこと。「あの人は唯我独尊で、感じが悪い」などというふうに、つかいます。)